

令和8年度 第2回広島市地域公共交通会議 議事録

1 日 時 令和8年8月3日(金) 14:00～15:00

2 場 所 広島市役所14階 第5会議室東側

3 出席者

(1) 委員

広島工業大学 伊藤会長、広島県バス協会 横田委員、
広島県タクシー協会 稲益委員、私鉄中国地方労働組合 後藤委員、
広島市老人クラブ連合会 堂本委員、広島消費者協会 向久保委員、
広島中央警察署 高見委員代理、広島西警察署 土井信委員代理、
中国運輸局広島運輸支局 吉田委員、広島市道路交通局道路管理課 余頃委員、
広島市道路交通局公共交通政策部 橋本委員

(2) 事務局

広島市道路交通局公共交通政策部路線バス・生活交通担当
三浦課長、淀川専門員、中尾技師

(3) 説明者

事務局

(一社)バス協調・共創プラットフォームひろしま 濱本課長、二川主任技師
広島バス㈱ 清水課長、北川課長
広島電鉄㈱ 村瀬課長
広島交通㈱ 井上次長

4 内 容

(議 事) 広島市中心部における新規運行ルート（西広島駅～御幸橋）の新設について
(情報提供) 美鈴が丘地区乗合タクシーにおける無料乗車の実施について（案）

5 議事概要

議案について、原案どおり了承された。

6 質疑応答

【広島市中心部における新規運行ルート（西広島駅～御幸橋）の新設について】

(吉田委員)

通学通勤にも資する路線であるとともに、国道2号西広島バイパスの延伸事業に係る渋滞の回避にもつながることを期待している。

利用者への周知はどのように行っていくのか。

(プラットフォーム)

沿線住民へのポスティングや町内会への回覧などを検討している。

(高見委員代理)

実証運行後、ニーズがあれば本格運行に移行するのか。

(広島バス)

実証運行中の状況を見て判断する。

(向久保委員)

資料の「新設理由」の欄に課題が記載してあるが、都心部全体の内容になっており、新設路線に対する内容になっていないのではないかと。

本事業に対して、公的なお金は投入されているのか。

(プラットフォーム)

課題の記載について、「このため」以降の段落において、新設路線に対する内容を記載している。それ以前の段落については、都心部全体の内容を記載している。

(広島市)

本事業には、国の補助事業を活用しており本市も補助を行っている。

(土井信委員代理)

新設区間①の付近で、下水道工事に伴う道路の陥没事故があった。事故後、下水道工事は中止になっているが、工事再開後は交通規制がかかる可能性があるため、留意しておいて欲しい。

(広島電鉄)

規制によりルート変更が生じる際は、相談させて欲しい。

【美鈴が丘地区乗合タクシーにおける無料乗車の実施について（案）】

(吉田委員)

10 周年イベントに合わせて運賃を無料にするとのことだが、事業の趣旨は地域への周知なのか、それとも利用者への還元なのか。

(広島市)

地域への周知である。地元協議会において、地域の中でまだまだ乗合タクシーのことを知らない人がいるという課題認識を持っている。

(吉田委員)

乗合タクシーの現在の利用状況はどれくらいなのか。

(広島市)

本格運行開始直後は1 便当たり 2 人程度の利用であったところ、今は1 便当たり 2.5 人程度の利用があり、増えてきている。